

「人形劇のまち飯田」の季刊情報誌

# Dogushi

桐串 -どぐし-

Spring 2019

Vol.25

特集

わくわくのタネがいっぱい  
いいだ人形劇センター年間イベントスケジュール

Dogushi Vol.25 2019年4月発行 発行：「人形劇のまち飯田」運営協議会  
制作：NPO法人いいだ人形劇センター 〒465-0044 長野県飯田市本町1-2 TEL:050-3583-3594 FAX:050-3583-3594 E-mail: iida-puppet@missjans.or.jp

## 掲示板 いいだ人形劇センター からのお知らせ

### 新年度会員募集中!

NPO法人いいだ人形劇センターは、センターの目的と活動にご理解、ご賛同いただき、活動を支援していただける2019年度の会員を募集しています。

正会員・賛助会員(いずれも個人・団体)にお申込みいただきますと会員特典として、季刊情報誌『Dogushi』や公演・イベントなどのお知らせを随時配信させていただきますほか、公演チケットの割引販売などの特典があります。皆さまのご支援をお願いいたします。

#### 年会費

正会員 5,000円

(企画を提案できます。総会での議決権あり)

賛助会員 1口 2,000円

(活動を財政面から支えていただきます)

- 問合せ:いいだ人形劇センター
  - TEL:050-3583-3594
  - URL:iidapapecen.com
- 「入会案内」メールフォームからお申込みいただけます。

Dogushi

## 並木 さんぽ

舞台上に欠かせない音響と照明。それぞれの現場のプロが指導する「舞台の裏方講座」を開催しました。コンサートや人形劇公演が行われる会場での実地体験をして、参加した高校生からは「文化祭やイベントでいかしたい」との感想も。アマチュアの人形劇上演では音響・照明に注意を注ぐことは多くないけれど、知識を得ることで作品づくりの幅が広がると感じました。次回開催の折は、市民劇団の皆さんに参加いただけたらうれしいです。

次号は7月発行予定です。(帆)

表紙イラスト:井原千代子



View of IIDA

手と木製の目でユニークな表情を生み出すLejo「ハンズ・アップ!」(オランダ)公演が飯田人形劇場で行われました。音楽がいっぱいでセリフなしの人形劇を観た後は、観客が紙で目をつくって「ハンズ・アップ」の世界を体験。子どもも大人もLejoさんと一緒に楽しみました。

## 第5回 AVIAMA 人形劇でつながる世界の都市

### リベレツ (チェコ共和国)

前回に続きチェコ共和国から、人形劇のまち「リベレツ」を紹介します。人口10万人のまちリベレツは国の北端に位置し、ドイツやポーランドの国境に近いことから、民族の複雑な歴史を有する都市です。現在のリベレツのシンボルは、郊外の山の上に立つ「イェシュチェト」と呼ばれるユニークな形の建物(中にテレビ塔とホテルがあります)ですが、人形劇もこのまちの重要な魅力の1つ。リベレツでは国立の「ナイブニ人形劇場」が日々上演を行っているほか、この劇場が主催する「マテジカフェスティバル」は、チェコで唯一の、小さな子どもたち向けの作品に特化したフェスティバルとして注目されています。

ナイブニ人形劇場といえば、2018年2月に飯田人形劇場で行われた「せかいの劇場」公演を覚えている方もいらっしゃるかもしれません。世界の都市と飯田。人形劇を通じた交流が、毎年様々な形で行われていることを知っていただけたら嬉しいです。



ナイブニ人形劇場による「空からきたひつじ」は、かわいらしい人形たちにコミカルな仕掛けがたくさん作品。飯田でもたくさんの観客を賑わせてくれました

# わくわくのタネがいっぱい

## いいた人形劇センター年間イベントスケジュール

人形劇公演はもちろん、初心者向けの人形劇講座や人形操作・美術制作などのワークショップ、企画展、季刊情報誌の発行など、2019年度もいいた人形劇センターはさまざまなわくわくのタネがたっぷり。ぜひ予定に入れてご参加ください。

7月	6月	5月	4月	3月	2月	2020年 1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月
<p>●麻績の里桜まつり竹田人形座竹の子会 特別上演 4月6日(土)・7日(日)各11時・13時 竹田人形館</p> <p>●人形劇定期公演 4月13日(土)10時30分 飯田人形劇場 出演／上久堅小4年、くまごや一団、東野人形劇あかね 料金／2000円(3歳未満無料)</p> <p>●黒田人形浄瑠璃奉納公演 4月13日(土)18時・14日(日)13時 下黒田諏訪神社境内黒田人形舞台「無料」 外題／生写朝顔日記 宿屋の段ほか</p> <p>●川本美術館企画展「竹田喜之助の人形展」 4月16日(火)まで 川本美術館3階スタジオ</p> <p>●川本美術館企画展「ねほりんばほりん展」 4月20日(土)～5月19日(日) 川本美術館3階スタジオ NHK Eテレのトークバラエティ番組 「ねほりんばほりん」の人形を展示 会期中にトークイベント(4月20日・4月27日・5月12日)、 ワークショップ(4月28日)を開催</p> <p>●基礎レッスン 4月～通年 飯田文化会館ほか 人形劇 演劇の経験者対象。即興表現、身体発声訓練、 脚本の読み解きなど舞台にかかわる人のための基礎作り</p> <p>●いいた人形劇センタープロデュース 「人魚姫」ワークショップ 2015年初演の作品の再演に向けてプロジェクトスタート 新たなメンバーを加え、市民がつくる飯田祭の人形劇を制作 キャスト裏方スタッフなどメンバー募集中</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」春号発行 4月上旬</p> <p>●人形劇講座初級コース 5月～10月 飯田文化会館ほか 初心者対象。作品選びから人形づくり、上演までを体験</p> <p>●人形劇講座中級コース 5月～9月(前期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇の相談所 5月21日(火)～6月18日(火)の毎週火曜 いいた人形劇フェスタ上演に向けて人形劇制作に 取り組んでいる方のためにより相談所を開設「無料」</p> <p>●三人違いワークショップ 5月25日(土) 川本美術館下 今田人形座を講師に伝統人形芝居の 操演方法「三人違い」を体験「無料」</p> <p>●人形劇 in 竹筒まつり 5月25日(土) 川本美術館下 江戸の灯りで楽しむ人形芝居 出演／今田人形座「伊達娘恋緋鹿子火の見櫓の段」(無料)</p> <p>●川本美術館第25回常設展 5月31日(金)～2020年1月中旬</p> <p>●ワークショップ付き人形劇公演 6月1日(土)10時 飯田人形劇場 小中学校で人形劇制作に取り組み児童や生徒、 市民劇団に向けたワークショップ付きの人形劇公演 一般の方にもおすすめ</p> <p>出演／人形劇だんだん大福「ぎつねのまんま」 料金／大人800円・3歳～小中高生500円</p> <p>●いいた人形劇センター×今田人形座共同制作 「ゆきをんな」公演 6月2日(日)14時・17時 飯田女子短期大学講堂 小泉八雲の「雪女」を伝統人形と現代音楽語りで表現 料金／大人1,000円 小中高生500円</p> <p>●森のかみしばい劇場 7月7日(日) かざし子どもの森公園 飯田下伊那の紙芝居 読み聞かせグループによる公演</p>	<p>●いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」 7月中旬 市内各所</p> <p>●いいた人形劇フェスタ2019 7月31日(水)～8月5日(月) 飯田市内全域 「いいた人形劇センター企画」</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」夏号発行 7月下旬</p> <p>●川本美術館子ども写生大会 8月7日(水) 川本美術館3階ギャラリー 「三國志」平家物語の人物たちを描こう「無料」</p> <p>●川本美術館 川本喜八郎追悼企画 8月18日(日) 会場未定 飯田市美術館とのコラボイベント(予定)</p> <p>●人形劇定期公演 9月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●ダンボールししまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男、後藤渉氏を講師にダンボールで 獅子の頭をつくり、10月開催の創作獅子舞ワークショップに出場</p> <p>●人形劇講座中級コース 10月～2020年3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●せいかいの劇場 vol.8 10月25日(金)・26日(土) 飯田人形劇場 海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演「シヨル テイルトラン」 「VISUAL POEMS」(スペイン)</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」秋号発行 10月下旬</p> <p>●人形劇 in 丘のまちフェスティバル 11月3日(祝) 川本美術館 木曾ひのきの間伐材を使った電動糸ノコギリ「糸鋸寿司」 出演「ナルカワワールド」(無料)</p> <p>●「人魚姫」展 11月中旬～12月中旬 飯田信金本店ロビー 12月下旬～1月下旬 川本美術館交流ゾーン 上演で使用した人形や小道具、写真など展示「無料」</p> <p>●森のぼかぼかクリスマス 12月1日(日)かざし子どもの森公園 人形劇公演「クリスマス」とヒザづくりが楽しめる ファミリー向け企画</p> <p>出演／人形劇団ひばりたまむちっぴりとちよこ</p> <p>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月21日(土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストと繰り広げるスペシャル企画</p> <p>●初春を寿ぐ竹田人形館 1月11日(土)・12日(日) 竹田人形館 竹田人形座竹の子会が結成20周年記念に 制作した作品「お血脈の印」を上演</p> <p>●人形劇定期公演 1月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●川本美術館第26回常設展 1月中旬～5月下旬</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」冬号発行 1月下旬</p> <p>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</p> <p>●いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」 2月中旬</p> <p>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●オトナのための人形劇講座 vol.3 「精密機械と人形芝居」 3月上旬</p> <p>●人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</p>	<p>●いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」 7月中旬 市内各所</p> <p>●いいた人形劇フェスタ2019 7月31日(水)～8月5日(月) 飯田市内全域 「いいた人形劇センター企画」</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」夏号発行 7月下旬</p> <p>●川本美術館子ども写生大会 8月7日(水) 川本美術館3階ギャラリー 「三國志」平家物語の人物たちを描こう「無料」</p> <p>●川本美術館 川本喜八郎追悼企画 8月18日(日) 会場未定 飯田市美術館とのコラボイベント(予定)</p> <p>●人形劇定期公演 9月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●ダンボールししまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男、後藤渉氏を講師にダンボールで 獅子の頭をつくり、10月開催の創作獅子舞ワークショップに出場</p> <p>●人形劇講座中級コース 10月～2020年3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●せいかいの劇場 vol.8 10月25日(金)・26日(土) 飯田人形劇場 海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演「シヨル テイルトラン」 「VISUAL POEMS」(スペイン)</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」秋号発行 10月下旬</p> <p>●人形劇 in 丘のまちフェスティバル 11月3日(祝) 川本美術館 木曾ひのきの間伐材を使った電動糸ノコギリ「糸鋸寿司」 出演「ナルカワワールド」(無料)</p> <p>●「人魚姫」展 11月中旬～12月中旬 飯田信金本店ロビー 12月下旬～1月下旬 川本美術館交流ゾーン 上演で使用した人形や小道具、写真など展示「無料」</p> <p>●森のぼかぼかクリスマス 12月1日(日)かざし子どもの森公園 人形劇公演「クリスマス」とヒザづくりが楽しめる ファミリー向け企画</p> <p>出演／人形劇団ひばりたまむちっぴりとちよこ</p> <p>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月21日(土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストと繰り広げるスペシャル企画</p> <p>●初春を寿ぐ竹田人形館 1月11日(土)・12日(日) 竹田人形館 竹田人形座竹の子会が結成20周年記念に 制作した作品「お血脈の印」を上演</p> <p>●人形劇定期公演 1月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●川本美術館第26回常設展 1月中旬～5月下旬</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」冬号発行 1月下旬</p> <p>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</p> <p>●いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」 2月中旬</p> <p>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●オトナのための人形劇講座 vol.3 「精密機械と人形芝居」 3月上旬</p> <p>●人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</p>	<p>●いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」 7月中旬 市内各所</p> <p>●いいた人形劇フェスタ2019 7月31日(水)～8月5日(月) 飯田市内全域 「いいた人形劇センター企画」</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」夏号発行 7月下旬</p> <p>●川本美術館子ども写生大会 8月7日(水) 川本美術館3階ギャラリー 「三國志」平家物語の人物たちを描こう「無料」</p> <p>●川本美術館 川本喜八郎追悼企画 8月18日(日) 会場未定 飯田市美術館とのコラボイベント(予定)</p> <p>●人形劇定期公演 9月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●ダンボールししまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男、後藤渉氏を講師にダンボールで 獅子の頭をつくり、10月開催の創作獅子舞ワークショップに出場</p> <p>●人形劇講座中級コース 10月～2020年3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●せいかいの劇場 vol.8 10月25日(金)・26日(土) 飯田人形劇場 海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演「シヨル テイルトラン」 「VISUAL POEMS」(スペイン)</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」秋号発行 10月下旬</p> <p>●人形劇 in 丘のまちフェスティバル 11月3日(祝) 川本美術館 木曾ひのきの間伐材を使った電動糸ノコギリ「糸鋸寿司」 出演「ナルカワワールド」(無料)</p> <p>●「人魚姫」展 11月中旬～12月中旬 飯田信金本店ロビー 12月下旬～1月下旬 川本美術館交流ゾーン 上演で使用した人形や小道具、写真など展示「無料」</p> <p>●森のぼかぼかクリスマス 12月1日(日)かざし子どもの森公園 人形劇公演「クリスマス」とヒザづくりが楽しめる ファミリー向け企画</p> <p>出演／人形劇団ひばりたまむちっぴりとちよこ</p> <p>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月21日(土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストと繰り広げるスペシャル企画</p> <p>●初春を寿ぐ竹田人形館 1月11日(土)・12日(日) 竹田人形館 竹田人形座竹の子会が結成20周年記念に 制作した作品「お血脈の印」を上演</p> <p>●人形劇定期公演 1月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●川本美術館第26回常設展 1月中旬～5月下旬</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」冬号発行 1月下旬</p> <p>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</p> <p>●いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」 2月中旬</p> <p>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●オトナのための人形劇講座 vol.3 「精密機械と人形芝居」 3月上旬</p> <p>●人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</p>	<p>●いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」 7月中旬 市内各所</p> <p>●いいた人形劇フェスタ2019 7月31日(水)～8月5日(月) 飯田市内全域 「いいた人形劇センター企画」</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」夏号発行 7月下旬</p> <p>●川本美術館子ども写生大会 8月7日(水) 川本美術館3階ギャラリー 「三國志」平家物語の人物たちを描こう「無料」</p> <p>●川本美術館 川本喜八郎追悼企画 8月18日(日) 会場未定 飯田市美術館とのコラボイベント(予定)</p> <p>●人形劇定期公演 9月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●ダンボールししまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男、後藤渉氏を講師にダンボールで 獅子の頭をつくり、10月開催の創作獅子舞ワークショップに出場</p> <p>●人形劇講座中級コース 10月～2020年3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●せいかいの劇場 vol.8 10月25日(金)・26日(土) 飯田人形劇場 海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演「シヨル テイルトラン」 「VISUAL POEMS」(スペイン)</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」秋号発行 10月下旬</p> <p>●人形劇 in 丘のまちフェスティバル 11月3日(祝) 川本美術館 木曾ひのきの間伐材を使った電動糸ノコギリ「糸鋸寿司」 出演「ナルカワワールド」(無料)</p> <p>●「人魚姫」展 11月中旬～12月中旬 飯田信金本店ロビー 12月下旬～1月下旬 川本美術館交流ゾーン 上演で使用した人形や小道具、写真など展示「無料」</p> <p>●森のぼかぼかクリスマス 12月1日(日)かざし子どもの森公園 人形劇公演「クリスマス」とヒザづくりが楽しめる ファミリー向け企画</p> <p>出演／人形劇団ひばりたまむちっぴりとちよこ</p> <p>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月21日(土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストと繰り広げるスペシャル企画</p> <p>●初春を寿ぐ竹田人形館 1月11日(土)・12日(日) 竹田人形館 竹田人形座竹の子会が結成20周年記念に 制作した作品「お血脈の印」を上演</p> <p>●人形劇定期公演 1月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●川本美術館第26回常設展 1月中旬～5月下旬</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」冬号発行 1月下旬</p> <p>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</p> <p>●いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」 2月中旬</p> <p>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●オトナのための人形劇講座 vol.3 「精密機械と人形芝居」 3月上旬</p> <p>●人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</p>	<p>●いいた人形劇フェスタ「プレフェスタ」 7月中旬 市内各所</p> <p>●いいた人形劇フェスタ2019 7月31日(水)～8月5日(月) 飯田市内全域 「いいた人形劇センター企画」</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」夏号発行 7月下旬</p> <p>●川本美術館子ども写生大会 8月7日(水) 川本美術館3階ギャラリー 「三國志」平家物語の人物たちを描こう「無料」</p> <p>●川本美術館 川本喜八郎追悼企画 8月18日(日) 会場未定 飯田市美術館とのコラボイベント(予定)</p> <p>●人形劇定期公演 9月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●ダンボールししまいワークショップ 9月～10月 川本美術館エントランス 獅子を舞う男、後藤渉氏を講師にダンボールで 獅子の頭をつくり、10月開催の創作獅子舞ワークショップに出場</p> <p>●人形劇講座中級コース 10月～2020年3月(後期) 飯田文化会館ほか 飯田市で創作活動が可能で、新作に取り組みたい劇団対象</p> <p>●人形劇定期公演 10月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●せいかいの劇場 vol.8 10月25日(金)・26日(土) 飯田人形劇場 海外の優れた作品を飯田で鑑賞する特別企画 出演「シヨル テイルトラン」 「VISUAL POEMS」(スペイン)</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」秋号発行 10月下旬</p> <p>●人形劇 in 丘のまちフェスティバル 11月3日(祝) 川本美術館 木曾ひのきの間伐材を使った電動糸ノコギリ「糸鋸寿司」 出演「ナルカワワールド」(無料)</p> <p>●「人魚姫」展 11月中旬～12月中旬 飯田信金本店ロビー 12月下旬～1月下旬 川本美術館交流ゾーン 上演で使用した人形や小道具、写真など展示「無料」</p> <p>●森のぼかぼかクリスマス 12月1日(日)かざし子どもの森公園 人形劇公演「クリスマス」とヒザづくりが楽しめる ファミリー向け企画</p> <p>出演／人形劇団ひばりたまむちっぴりとちよこ</p> <p>●人形劇定期公演 12月中旬 飯田人形劇場</p> <p>●ましゅ&amp;Keiのクリスマス会 12月21日(土) 川本美術館 ましゅ&amp;Keiがゲストと繰り広げるスペシャル企画</p> <p>●初春を寿ぐ竹田人形館 1月11日(土)・12日(日) 竹田人形館 竹田人形座竹の子会が結成20周年記念に 制作した作品「お血脈の印」を上演</p> <p>●人形劇定期公演 1月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●川本美術館第26回常設展 1月中旬～5月下旬</p> <p>●季刊情報誌「Dogushi」冬号発行 1月下旬</p> <p>●保育士人形劇研修発表会 2月中旬</p> <p>●いいた人形劇まつり「りんごっこ劇場」 2月中旬</p> <p>●人形劇定期公演 2月下旬 飯田人形劇場</p> <p>●オトナのための人形劇講座 vol.3 「精密機械と人形芝居」 3月上旬</p> <p>●人形劇定期公演 3月中旬 飯田人形劇場</p>							



©NHK



※日程や内容は変更になる場合があります。最新情報はお電話にてお問い合わせいただくか、いいた人形劇センターのウェブサイト、フェイスブックをご覧ください。※無料と表記のあるもの以外は入場料、参加費、入館料等が必要です

## 飯田は人形劇の聖地

人形劇団とんと 前田耕一

1979年、私は大学の児童文化部で人形劇をやっていた。地方の大学のサークルだったが「長野県飯田市で人形劇カーニバルを開催するので上演劇団募集と参加者募集!」のお知らせが舞い込んだ。人形劇をもっと深く知りたいと思っていた私にとって、とても魅力的な催し。しかも夜はキャンプ場と一緒に会して大交流会、すぐ参加申込書



地区公演の写真 確か2017年(2016年かも) 上久堅での公演

第14回  
すべての道は  
飯田へ通ず

### 祝 人形劇カーニバル79飯田



1979年の記念写真。一番左端が筆者(昔の写真で写りはまいち、すみません)

に記入し、心はすぐに飯田に行っていた。それでも開催日、飯田に着いてみるとそこは煌めく人形劇の舞台で溢れていた。夜にはそれらの人形を操る劇人達と飲んで話す。「なんて人形劇を愛する人たちなんだ!」私は人形劇と人形劇を愛する人たちの虜となった。かくして「人形劇のプロになろう」と飯田の地で決意したので。

あれから40年。ほぼ毎年夏は飯田に行っている。それは私にとって飯田は人形劇の聖地だから。何はさておき飯田に行つて、人形劇と人形劇を愛する人たちと出会い、話をする。上演は特に地区公演が好きだ。終わった後の交流会で愛に溢れた話がいっぱい聞けるから。今年も飯田に行く。そして交わる。飯田は人形劇愛の聖地なのだ。

次号は「しんくシアター」の横山慎司さんです

### Library Cafe

飯田とつながる世界の人形劇図書資料から㊤

#### 『星空の人形芝居』 熊谷千世子

本屋の児童書の棚で見つけた時は、一瞬ファンタジー漫画本かなと思ったが、なんと今田人形芝居がテーマの小学生向児童文学の新刊だった。物語は、父親のUターンに伴い東京から転校してきた女の子が今田人形と出会い、地元小学校の今田人形クラブに加わり、大宮八幡宮の宵祭りで上演をするまでを、子どもの視線で、友達、学校、地域の様子とあわせ、今田人形芝居についてもきちんと描かれている。本離れだというけれど、子どもたちの目に触れて、身近に感じて、本にも人形芝居にも興味をつないでほしいと思う。作者は長野県在住で元教員の児童文学作家。

(人形劇の図書館館長・湯見英明)



国土社(2018年12月)

## ゆきをんな 伝統と現代の融合に挑戦 6月2日に上演

現代の言葉、現代音楽と、飯田市龍江・今田人形座の三人遣いの人形を融合した、これまでにない『雪女』を制作中です。3月に制作の経緯や一場面の上演をご覧いただく中間発表を行い、6月2日(日)に本公演を行います。

- 日時/6月2日(日)14時・17時
- 会場/飯田女子短期大学講堂
- 料金/大人1,000円・小中高生500円



「ゆきをんな」

出演/今田人形座、語り/白井明美、音楽/桑原利彦(いいだ人形劇センター副理事長)、脚本/高松和子(いいだ人形劇センター理事長)

## 市民がつくる飯田発の人形劇 ②作品

ただいま制作中!

### 人魚姫 あの感動を再び 今夏の再演に向けてプロジェクトスタート!

4年ぶりの再演をめざして、キャスト・スタッフを募集しています。舞台上に立ちたい方はもちろん、作品づくりに欠かせない演出助手・舞台監督志望の方、美術制作・照明・音響に興味のある方、一緒に舞台作品をつくりましょう。いいだ人形劇フェスタ2019での再演、秋には飯田市外への派遣公演もめざします。中高生の参加も大歓迎です。



「人魚姫」は、飯田下伊那の市民20人がプロの脚本家・美術家と一緒に、一年半かけて制作した作品。2015年3月に初演、8月にいいだ人形劇フェスタで上演し、合計6公演すべての公演で満席の来場と高い評価を得ました。

## 2019年度 人形劇講座

昨年は初級コースに13人(4グループ)、中級コースに3劇団が参加し、飯田人形劇場での定期公演や、飯田市内外への派遣公演で活躍しました。さあ、今年はあなたの番ですよ!



### 人形劇を始めよう! 人形劇講座 初級コース

初めての方対象の人形劇講座です。作品選びから人形づくり、上演まで楽しく体験しましょう。

期 間 / 5月~10月(週1回・全20回)  
参加費 / 月1,000円

### 人形劇を続けたい学生のみならず ユースクラブ

中学生から大学生のための人形劇クラブ。人形劇をつくって上演することを目標としますが、他のワークショップへの参加等、いろいろなことにチャレンジします。中学校の人形劇部出身の新高校生大歓迎!

期 間 / 通年、週1回程度 参加費 / 月500円

### 新作をつくりませんか 人形劇講座 中級コース

新作プランのある劇団も、ノープランの劇団もOKです。地元アマチュア劇団の新作づくりを応援します。

期 間 / 前期5月~9月、後期10月~3月  
参加費 / 月1,000円



### もう一步上を目指したい! 基礎レッスン

人形劇や演劇など舞台に立つ機会のある方向け。舞台に立つための基本的なカラダの使い方を学びます。

期 間 / 通年、月2~3回  
参加費 / 2,000円、学生1,000円(回数券4枚綴り・有効期間4カ月)  
対 象 / 高校生以上

●お問合せ・申込み / いいだ人形劇センター ☎050-3583-3594

また、飯田のフェスタでアルファの楽しい舞台を見たいですね。



劇場のそばのバス停 アルファ人形劇場の正面

のバス停の名前は「Divadlo Alfa(アルファ劇場)」でした。現在劇団員は36人、演技者12人、演出3人、ワークショップ担当6人、劇場管理3人、劇場技術者6人、営業・事務6人(毎年4本の新作を作り、年間の上演数は350回にのぼります。劇場は客席200人ほどのメイン劇場と、小劇場(50~60人)があり、私が訪れた時は、小劇場で中学生が団体鑑賞していました。入場料は大人も子どもも一律3ドル約310円、安い!です。運営費の8割は公的資金で賄われているということで、日本の人形劇団から見ると羨ましい限りです。

劇団の中の人形倉庫を見せてもらいましたが、特徴的だったのは木彫りのカシワで、力強いデザインの人形が多いという事です。当然かなりの重さがあります。持つだけでも大変な人形を、女性陣も使い切るわけです。ですから、日々の訓練が想像できます。

また、飯田のフェスタでアルファの楽しい舞台を見たいですね。



「音響編」は飯田市のライブハウス「キャンバス」オーナー桑原利彦さんが講師を務めた。電源の取り方、ミキサーやスピーカー、マイクなど機器の接続方法などを学んだ後、コンサートの準備にあわせて実作業

### 舞台の演出に欠かせない“しごと”体験



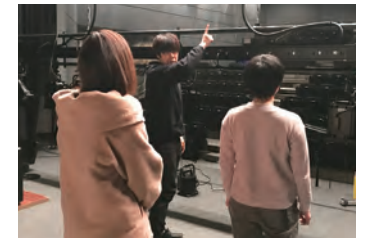
音響ミキサーを操作して音色・さまざまな機器に必要なケーブルの巻き方「八の字巻き」に挑戦

突撃!!

## 人形劇の ゲン・バ Part 21

人形劇公演やコンサートなど舞台に欠かせない音響や照明を実際に触りながら学べる「舞台の裏方講座」があるとの情報をキャッチ。音響編は飯田市川本喜八郎人形美術館を会場にしたコンサート現場、照明編は飯田人形劇場で行われた人形劇定期公演後の現場。2回に分けて開催された講座の様子をおさえるべく「ゲン・バ」へ直行しました!

「照明編」は飯田人形劇場スタッフの桑原未音さんが講師を務め、機材の接続やシェーディングの方法など解説。照明の操作も実際に体験した



日本ウニマ通信

## 世界みて ある記 ⑨

松澤 文子

### アルファ人形劇場 (チエコ・ピルゼン市)



「三銃士」いいだ人形劇フェスタ2018での公演

昨年、いいだ人形劇フェスタで上演された「三銃士」の感動を覚えている方も多いいと思います。この作品を演じたのがアルファ人形劇場。1966年創立のチエコを代表する人形劇団です。ピルゼン市は人口16万人、プラハから車で1時間ほどの地方都市です。有名なビール、ピルスナーの発祥地で、この名前は地名「Pilsen」からきています。劇場は中心地から車で15分ほどの郊外にあり、劇場、アトリエ、人形展示室に加えて、立派なゲストハウスがあります。劇場のそば